

長田夏樹弥生語ノート

KOTONOHA 編集室

このたび長田家より、故長田夏樹氏の弥生語研究に関するノートの画像をご提示いただいた。大学ノート25頁に渡って自筆の記述がある。長田氏の弥生語研究というと、1985年に茨城県つくば市で開催された「科学万博つくば'85」において弥生人ロボットが話した弥生語が思い起こされる。この弥生語は長田氏によるものであり、そのことは『新稿 邪馬台国の言語—弥生語復元—』（長田夏樹著。学生社、2010年。）に詳しい。このノートは当時の事情を彷彿とさせるもので研究史という観点からみて貴重な資料といえよう。ここに紹介をする次第である。

なお、本資料をめぐるの当時の状況については長田礼子氏に「父と弥生語」と題して、言語学的な解題として長田俊樹氏に「弥生語ノート解題」と題してお書きいただいた。感謝申し上げます。

Campus®

KOKUYO NOTEBOOK

Kokuyo Co., Ltd. manufactures the campus notebooks by using carefully selected writing paper, which is suitable for writing with a pen as well as with a pencil.



「学生用」ノート

長 田 夏 樹

KY 6号 179×252
このノートの中紙はJIS規格に準拠し、75g/m²の上質紙を使用しております。

40枚 ノ-4A

KOKUYO

五^ノ妻^ヲ國^ヲを越^シて甲斐^ノ酒所^宮 P185
(日^ノ見^ル國^ノから西南^ノの方^ニ向^テ陸^ヲを經^テ甲斐^ノ國^ノ)
倭^ノ建^命 酒所^宮

新^治 酒^所を過^シて

幾^ノ夜^カ宿^ルコ
火^ノ燒^ク老^人 (兼^テ火^ノ燭^者)

か^カな^リて 夜^ニは 九^ノ夜

日^ニは 十^ノ日

貞觀儀式大齋儀
貞觀13年(871)

『延喜式』延長5(927)年

卷16 「陰陽寮」 追數祭の宣命風琴文

奈牟多知波鬼之住登定賜此行賜臣

雄略記

多礼曾 意富麻弊尔麻素須

万5-802 山上憶良 鬼子等歌

伊豆久欲利根多利斯物能曾

『古事記』申卷神武記 久米歌

虫(音5). 志夜胡 志夜、此音 伊能暮希曾

阿(音3) " " " " "、此音 嘲咲音曾

推古記 12年 實法ナ七条ウカセ

通賢自實 十カレニニあムテあウズカヲヨクツカ

古事記下 仁徳

宇倍志許曾 斗比多麻 麻許曾 斗比

日本書紀 顯宗前記 室毒歌

吾常世等 我如常 體ウ反左女

'namu'tati 'tarai'čä?

Induku'yori 'kitari'či mänä'čä?

a ā čiyango čiya!

'mandu yururukan'i

miti 'yuki tamapiyä'

anga 'täkäyätati

yaa imačitati aŋga^ŋ na pa matungora

käkä^ŋ pa wanga čato^ŋ (nari)

čora^ŋ pa awoku, yama nä^ŋ päi moyai^ŋ wari^ŋ

kuča mä käi mä čingai^ŋ ku opuitati^ŋ

aki^Ndu tä^Nbi wari^ŋ

aŋga^ŋ ukara, kačä^ŋ iräpa^ŋ tä irämo^ŋ tä nari

kačä^ŋ iräpa^ŋ ta ni in^ědaiti^ŋ naripapi čun^ŋ

arai^ŋ pa unapara^ŋ wä^ŋ kähämaiti^ŋ

paman^ŋ bāi^ŋ niti kapi^ŋ piri^ŋ pi, kani^ŋ wä^ŋ tarun^ŋ

irämo^ŋ pa^ŋ no^ŋ niti kähämu^ŋ tarun^ŋ

仁賢記 6 卷

鹿父、鹿父人名也。俗呼父为柯曾

和名抄

尔雅云、父为考、和名^ニ <知知> 日本^ニ 己^ニ 知^ニ 知^ニ
云 <加曾>

尔雅云、母为妣、和名^ニ <波々> 日本^ニ 己^ニ 知^ニ 知^ニ
云 <此路波>

atu^uci

čamu^uci

čiyango čiya

čäwä tanbariyä

mangupačimo 万 13-3424

katat; yäräči

känämäči

itupari

makätä 万 -4348

uči 神代記下 <于志>

欽明朝 501
507-575

推古期 576-645

奈良前期 646-714

〃後期 715-794⁸⁰⁰

古事記 和銅5(712), 日本書紀 養老4(720)

大宝籍帳 702

御野國 ^{あすか} ^{あすか} ^{あすか} 味鈴間郡 吾部里 外6段

西海道三國戶籍 安八摩

筑前 豊前 豊後

庚午年籍 天智9年(670)

養老令 戶令

凡そ戸籍は五上を留め其の遠年の者は、次以依り
除く 近江大津宮 庚午年籍は除かず

養老5年(721) 戸籍

下総國葛飾郡大島郷

^{あすか}
了し王部

穴穂部 天皇(安奈天皇)

東歌と同時代

大宝戸籍との間には

和銅元年(708) 籍に

和銅7年(714) 籍にあり

233
 陳 封²⁹⁷ 『三國志』 西晋 (265-316) の初命書か山か、
 封⁷⁷ 封⁷⁷ 封⁷⁷ 『魏略』

三世紀洛陽方言

景初3 (239)年六月 倭女王朝獻

倭人伝の時代 後漢書

桓 (帝 147-67) 靈 (帝 168-88) の内、倭国大いに争ひ
 屢々相攻伐し、暦年主無し。一女子有り、名を卑弥呼と曰ふ。
 年長にして女帝せり。鬼神の道に事え、能く女を以てて
 衆を感めり。是に於いて其に立てて王と爲す。

アクセント

「類聚名義抄」

圖書寮本

高山寺本「三才類字集」

親賢院本

鎌倉時代字本

小松榮齋

6巻 平声軽の音義

「4050」に施す小次

金六郎景勝五経音義

「同治29」
1832.8
29.10.27
2835.3

「日本紀和記」

前田本色禁字類抄

岩崎文庫本字鏡

『三國史記』卷37 地理志

『魏志』「東夷傳」高句麗の条に
言語諸事は悉く大牟に同じ
識

言語諸俗は大概高句麗と同一

大牟、高句麗、濊は同一の言語
高句麗語に同じ

白鳥庫吉 (1896) 内藤虎次郎 (1907)

新村出 (1914)

李基文 (1961) 村山七郎 (1962)

原始的農業

大戎、山戎、赤狄、白狄

匈奴 庫胡

上代日本語

単母語

男性母語 a o u

女性母語 ö < *ä

中性母語 i, e < *äi

長母音

ě, i < *ui
^ *ai

甲類 i e a o u

乙類 i ě ö

欽明期 507-575 推古期 576-645

魚部魚詠

魚 kya → kyo → kiwo
→ kyē (52)

漢音

齊部 米、俸、題、西 zi:ei

昔部 易、尺、紙、弓 aku:eki

言體体系

母音

男性母音 a

女性母音 ä

中性母音 i, e, u

ai äi ui

漢州文書

男性母音 a o

女性母音 e

中性母音 i u

奈 米 足 尾

上代活の子音体系

活頭子音 (有声音の系列はない)

清音 ϕ t k c

鼻音 m n

w y

活中子音

ϕ t k c

b^{\sim} d^{\sim} g^{\sim} z^{\sim} s^{\sim}

m n r

w y

遠分 伝分
 南比 都麻 瑞 神南備 田万 (甘南備 正万)

丹治比正 信太春 信陀理正

当芸志記 平群宝籍豊後正記

訓傳解名續記

上代活の子音体系 tšagan tsaga:n saga:n

活頭子音

p t k c

m n

w y

活中子音

p t k c

nb n:d n:g n:fç

m n r

w y

祭文書 p.286 唇音研 p.57

	未然	連用	終止	連体	已然	命令
つ	て ^え tai	て ti	つ	つる	つれ	て ^え 下二 tiyā
ぬ	た	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ぬ ^え 下二 niyā